



おすすめ児童書9月



啓林堂書店 外商部

担当 蔵田・八部・表野・森川

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

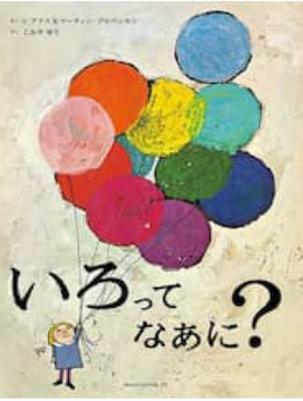
e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <https://www.books-keirindo.co.jp>

▽ 幼稚園・保育園以上

	<p>つきのぼうや 作・絵 イブ・スバング・オルセン 訳 やまのうちきよこ ￥1,210</p> <p>ある晩、お月さまがふと下を見ると「おやまあ、池の中にもう一人のお月さま」 そしてお月さまは「月をつれてきてほしい。友だちになりたいのだ」と、 つきのぼうやに頼みました。 つきのぼうやは籠を提げて、途中、うっかり星を蹴飛ばしたり、 飛行機に遭遇したりしながら、ふわりふわり下へ下へ降りて行きます。 つきのぼうやが地上の池で見つけたものは？どんなお月様を連れて帰るのでしょうか？ 縦35センチ横13センチの細長い形を活かした絵本です。</p> <p>ISBN 978-4-8340-0456-4 福音館書店 : 1979年 発売</p>
	<p>シカしかいない 作 キューライス ￥1,430</p> <p>奈良といえば、鹿！ どこを見ても一面お馴染みの、シカだらけの絵本です。 人間っぽいシカが銭湯へ行ったり、映画館へ行ったり、野球をしていたり…。 すみずみまでよく観察してみてください。 少しシュールで不思議なシカ愛あふれる絵本です。 でも、よく見るとシカじゃないものもいたりして…見つけてみてね。</p> <p>ISBN 978-4-592-76354-3 白泉社 : 2024年 発売</p>

▽ 小学生以上

	<p>いろってなあに? 作・絵 アリス・プロベンセン 作・絵 マーティン・プロベンセン 訳 こみやゆう ￥1,980</p> <p>色は匂いもしないし、味もしない。目に見えるものです。 黄色はどんな色でしょう。ひまわりやとうもろこし、たんぼぼ、バナナも黄色です。 同じ黄色といってもみんな違うということがわかります。 他の赤色や青色、紫色もそうです。みなさんはどんな色が好きですか？ 色の雰囲気や特徴を表した絵画のような迫力のある絵も見応えがあります。</p> <p>ISBN 978-4-87758-840-3 KTC中央出版 : 2022年 発売</p>
	<p>恐竜のあたまの中をのぞいたら 作 大島英太郎 監修 河部壮一郎 ￥1,760</p> <p>大昔の恐竜たちは身の回りの世界をどんなふう感じていたのでしょうか？ 恐竜の頭の骨の化石にはそれを知る手掛かりが多く残されているそうです。 想像するだけでワクワクします。 また、絵本に登場するおじさんのモデルは、この絵本の監修者である、 脳科学の視点を活かした恐竜研究の研究者、 福井県立大学恐竜学研究所の河部壮一郎さんです。 恐竜の秘密に迫る一冊です。</p> <p>ISBN 978-4-8340-8798-7 福音館書店 : 2024年 発売</p>